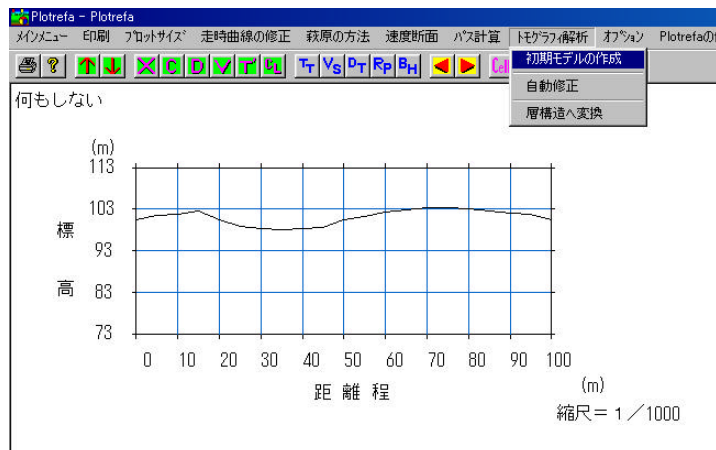


PlotRefaの使い方 (トモグラフィ解析)

- 初期モデルの作成
- 滑らかな速度構造に対する自動修正
(セルの速度の修正)
- 層構造への変換
- 層構造に対する自動修正
(層境界の修正)

初期モデルの作成

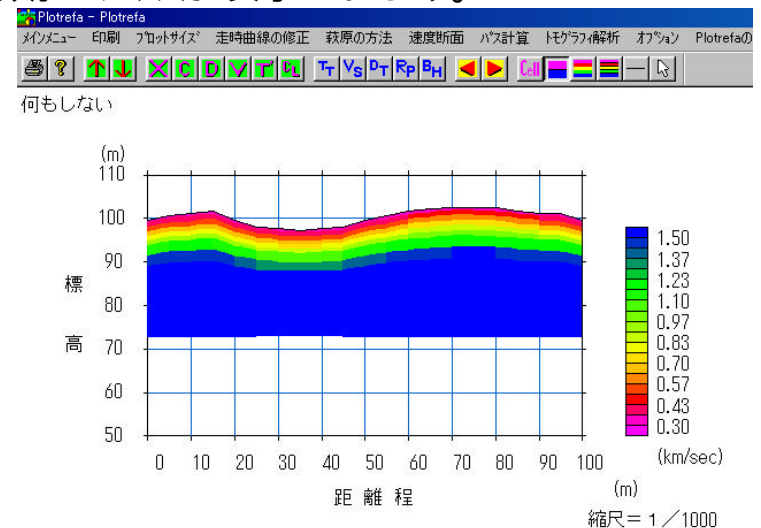
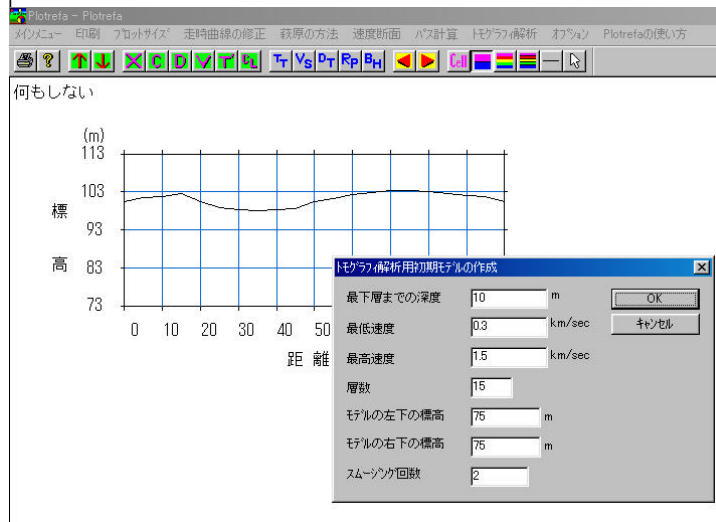
初期モデルを作成する前に必ず標高データを入力しておいてください。



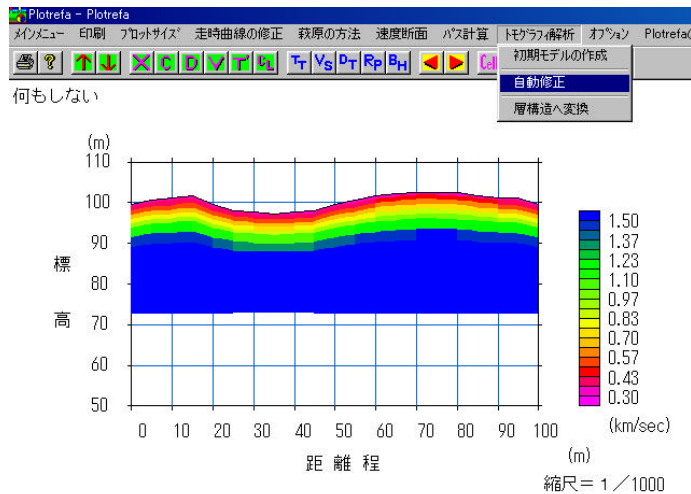
「トモグラフィ解析」「初期モデルの作成」を選択します。

表示されたダイアログボックスで適切な値を入力します。最高速度や最下層までの深度はTから大まかな値を決めてください。層数は10～15としてください。モデル下の標高は「最下層までの深度」で決めた最下層までの深さよりも下になるようにしてください。

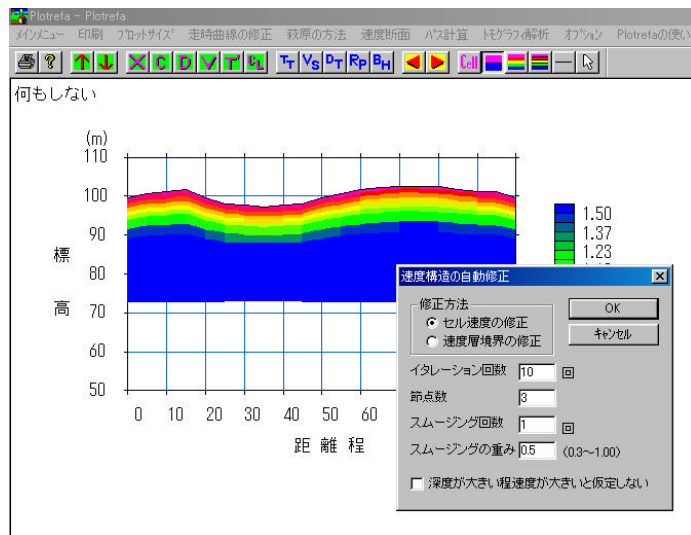
初期モデルが表示されます。



滑らかな速度構造に対する自動修正 (セルの速度の修正)



「トモグラフィ解析」「自動修正」を選択します。



ダイアログボックスが表示されるので、適切な値を設定してください。イタレーション回数は1～10としてください。通常、少なくとも10回のイタレーションは必要です。その他のパラメーターは、通常は変更する必要はありません。


滑らかな速度構造に対する自動修正 (セルの速度の修正)

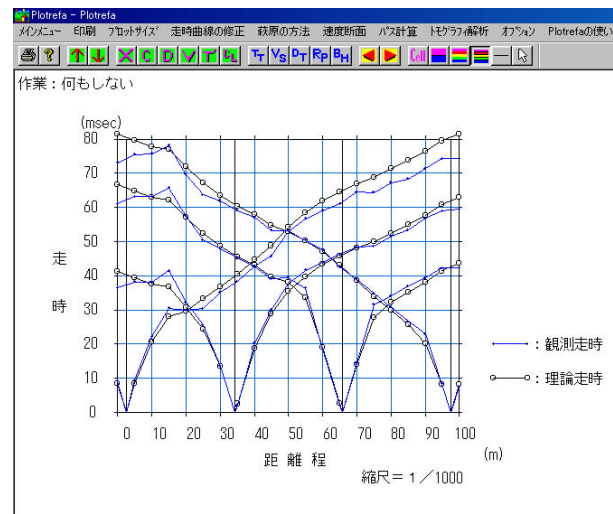
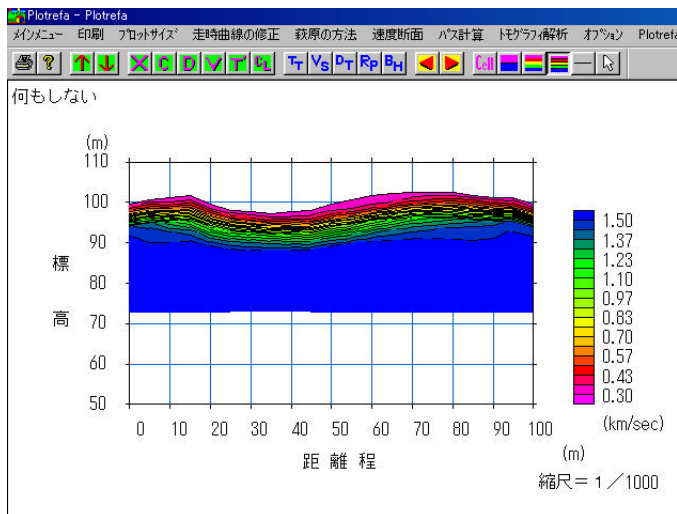
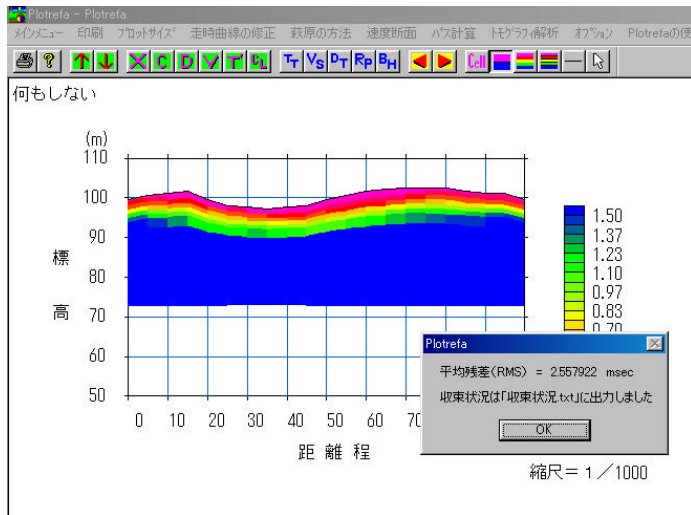
修正が終了すると、残差(RMSE)と修正した速度構造モデルが表示されます。

「速度断面」「色塗りの方法」で断面の表示方法を変更できます。

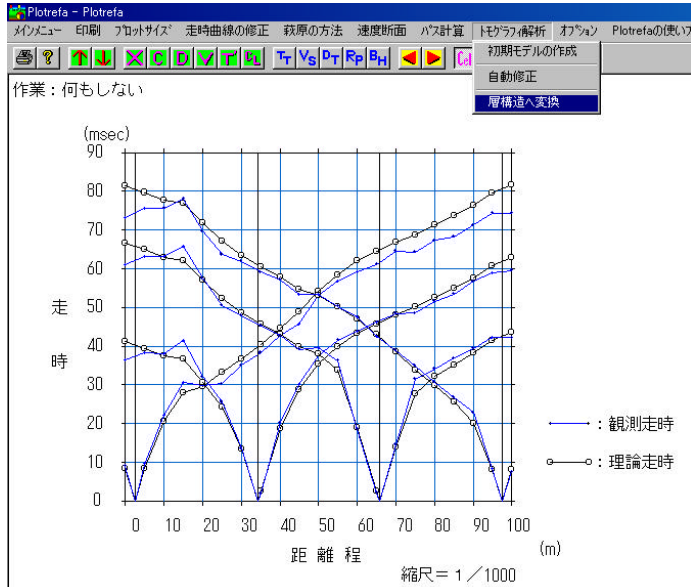
-  セル表示
-  コンター表示(線あり)
-  コンター表示
-  層境界のみ表示

「メインメニュー」「走時曲線のプロット」で理論走時と観測走時の比較図を表示します。

 走時曲線の表示



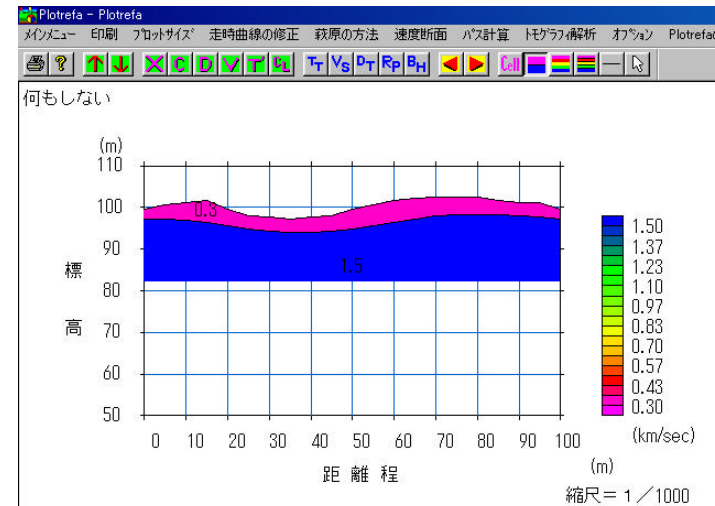
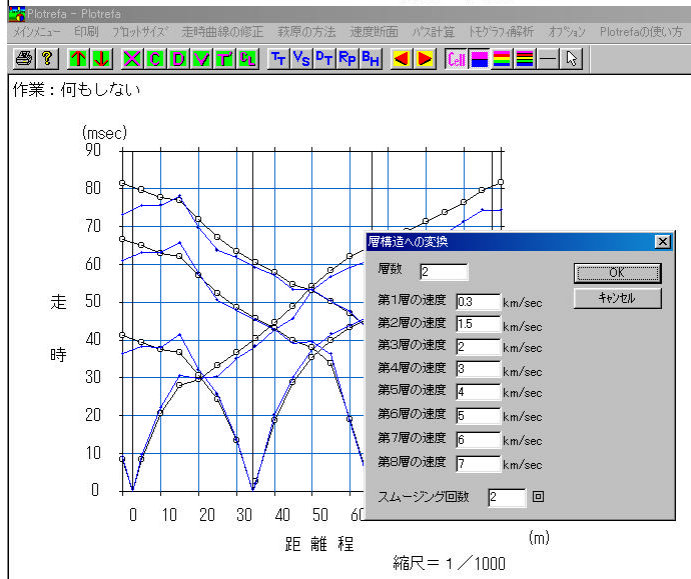
層構造への変換



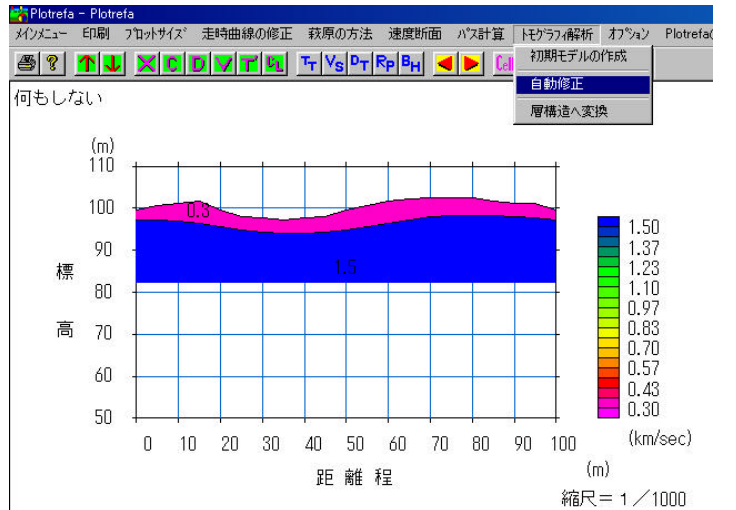
「トモグラフィ解析」「層構造へ変換」を選択します。

表示されたダイアログボックスで、層数と各層の速度を入力します。2層構造の場合、「第1層の速度」と「第2層の速度」だけ設定してください。他の層の値は使われません。

速度構造モデルは層構造へ変換されます。



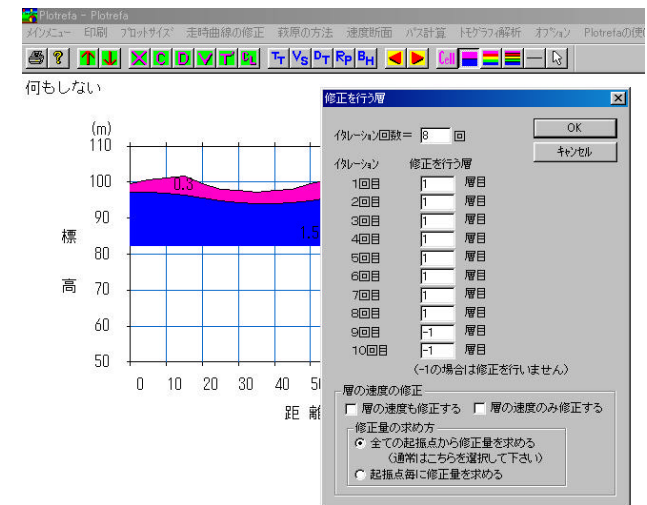
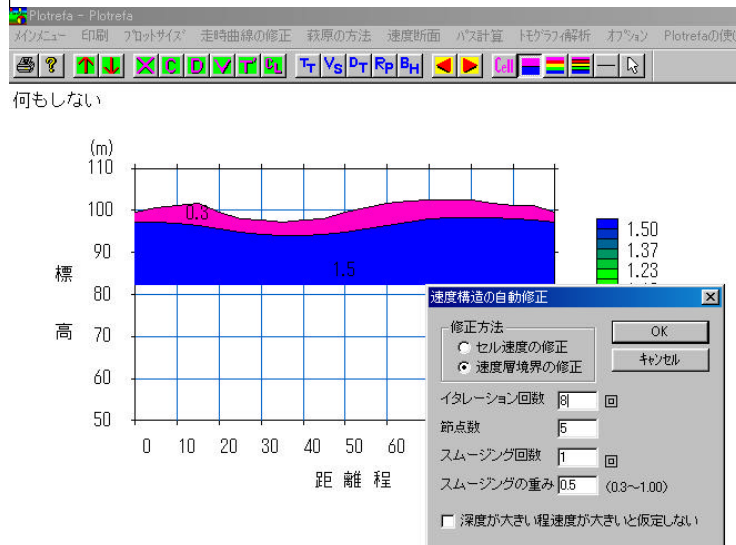
層構造に対する自動修正 (層境界の修正)



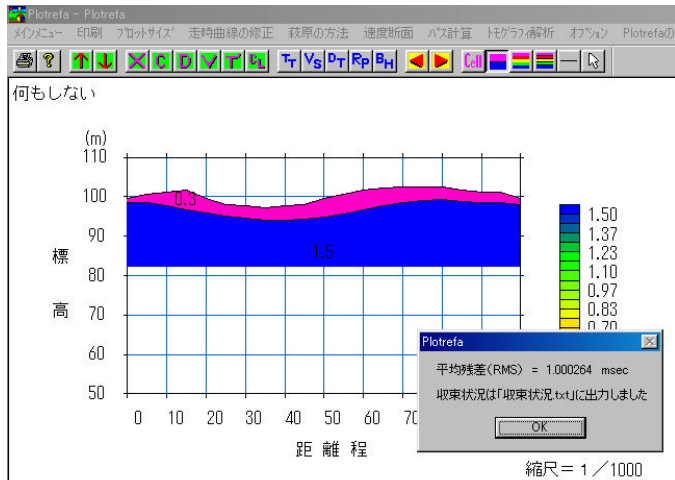
「トモグラフィ解析」「自動修正」を選択します。

ダイアログボックスが表示されるので、適切な値を設定してください。イタレーション回数は1~10としてください。その他のパラメーターは通常は変更する必要はありません。

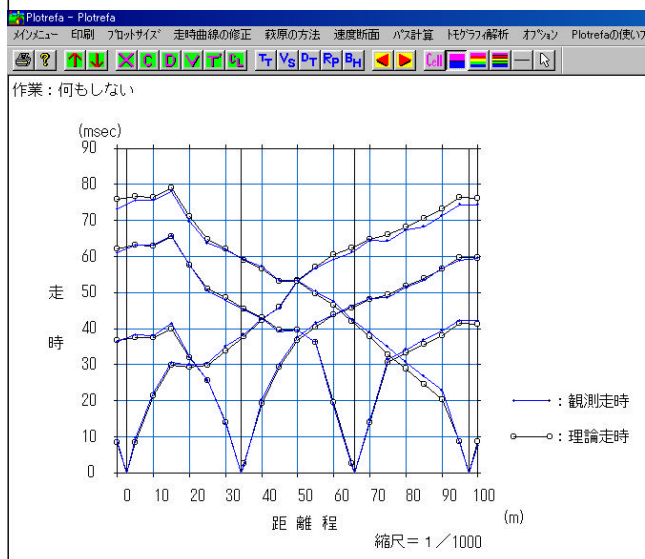
各イタレーションについて、修正する層を設定します。通常は変更する必要はありません。






層構造に対する自動修正 (層境界の修正)



修正が終了すると、残差(RMSE)と修正した速度構造モデルが表示されます。



「メインメニュー」「走時曲線のプロット」で理論走時と観測走時の比較図を表示します。

-  走時曲線の表示
-  波線を表示します。
-  速度構造モデルを表示します。